

第1学年 国語科学習指導案

日 時：平成21年10月 2日（金）4校時

児 童：第1学年 男10名 女21名 計31名

授業者：後藤 智香子

場 所：1年教室

1 単元名 くらべて よもう

教材名 じどう車くらべ (光村図書「かざぐるま」1年上)

2 単元について

(1) 単元について

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」ことである。本単元に関わる内容としては、「ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。」「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」「カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。」が指導事項となる。

本教材は、この時期の児童にとって、身近で興味・関心のあるものの一つである「じどう車」を取り上げ、働きごとに分かれる4種類の自動車について、その機能と構造を説明した文章である。文章は五つの意味段落からなっており、一の段落では話題と問題提示、二の段落ではバスや乗用車について、三の段落ではトラックについて、四の段落についてはクレーン車についてそれぞれ仕事とつくりについて説明し、五の段落でははしご車の仕事とつくりについて考えるよう問題提示がなされている。また、二～四の各段落の説明は三つの文で構成され、それぞれの自動車の仕事とつくりをあらわす文と文とが同じ意味の接続語でつながれているという同一の文型で書かれているので、前の段落で学習したことを生かして次の段落を自分の力で読んでいくことができると思われる。また、「しごと」と「つくり」との関連が分かりやすく、ほかの自動車についての説明文を書く方法として位置付けることができる。

以上のことから、本単元の目標を「自動車の仕事とつくりの関係に興味をもって読み、ほかの自動車を説明する文章を書くことができる。」と設定した。

(2) 児童について

「読み、理解する力」については、文章を読む場面で、音読を中心に据えながら、語のまとまりや文のまとまりを意識させてきたことにより、叙述に目をむけて読むことができるようになってきた。

「理論的に考える力」については、挿絵を用いながら、事柄の順序を整理してとらえることができるようにしてきた。また、「わけは、～だからです。」と、自分の考えの根拠を意識させて話すことができるように日々の授業で取り組んできてい

る。

「表現する力」については、体験したことを口頭で発表したり、簡単な文に書いたりして、よさをもとめあいながら学習に対する意欲を高めるようにしてきた。幼い表現ではあるが、一人一人が話題から逸れないように意識するようになってきた。

(3) 指導にあたって

「国語の力」を高めるために、次のように仮説に関わる指導を行っていきたい。

①仮説1について

本単元では、学習したことを生かし、自動車の仕事とつくりを説明する文章を書くことをねらう。「自動車図鑑を作ろう」という目的意識をもたせ、読み取ったことを生かし、書く様式をまねしながら自動車の仕事とつくりを説明する文章を書く言語活動を設定する。そのために、選んだ自動車について図書で調べ仕事とつくりの説明に必要な言葉や文を書き抜く活動をする。

②仮説2について

学習形態については、読み合いの場でペア学習を取り入れ、学習したことの確認やお互いのよさをみつけながら学習を進める。

③仮説3について

第一次から自動車に関わる図書を学級文庫に用意し、紹介する。人数分の図書が用意できない場合は、希望する自動車のコピーを用意する。

3 単元の目標

◎自動車の仕事とつくりの関係に興味をもって読み、ほかの自動車を説明する文章を書くことができる。

(関心・意欲・態度)

○自動車の仕事とつくりの関係に興味をもつとともに、ほかの自動車を説明する文章を書こうとしている。

(読むこと)

○三種類の自動車について、仕事とつくりの関係を考えながら内容の大体を読んでいる。

(書くこと)

○簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事とつくりを説明する文を書いている。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	書くこと
・身近な自動車の仕事とつくりの関係に興味をもつとともに、ほかの自動車を説明する文章を書こうとしている。	・三種類の自動車について、仕事とつくりの関係を考えながら内容の大体を読んでいる。	・簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事とつくりを説明する文を書いている。

5 単元指導計画（12時間）

次	時	主な学習活動	評価規準（評価方法）
第一 次	1	○「じどう車くらべ」を読み、挿絵や経験をもとに話し合い、「じどう車ずかん」を作る計画を立てる。	【関】知っている自動車について進んで発表しようとしている。 (観察、発言)
	2	○片仮名や漢字の読み方と表記の仕方を練習する。	【伝】片仮名や漢字で書く語を読んだり書いたりしている。 (観察、ノート)
第二 次	3	○「しごと」と「つくり」を確かめながら読み、じどう車カードを作る。 ・バスやじょうよう車のカードを作る。	【読】バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取っている。 (音読、サイドライン、カード)
	4	・トラックのカードを作る。	【読】トラックの「しごと」と「つくり」を読み取っている。 (音読、サイドライン、カード)
	5	・クレーン車のカードを作る。	【読】クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取っている。 (音読、サイドライン、カード)
	6	・はしご車のカードを作る。	【書】教材文を参考にして、はしご車の「しごと」と「つくり」の説明を文にまとめている。 (音読、カード)
第三 次	7	○自動車の絵本や図鑑を読んで、好きな自動車を選び、「しごと」と「つくり」を読み取る。	【読】図鑑作りに必要な自動車の本を選んで読んでいる。 (観察、選択した図書)
	8	○仕事とつくりの記述を書き抜く。	【読】選んだ自動車についての「しごと」と「つくり」の記述を書き抜いている。(書き抜きメモ)
	9	○好きな自動車のカードを作る。 ・「しごと」と「つくり」を説明する文を書く。〈本時〉	【書】教材文を参考にして、「しごと」と「つくり」が分かるように文の組み立てを考えて書いている。 (カード)
	10	・自動車の絵を描く。 ・読み返して、まちがいを直す。 ・余裕がある場合は、2枚目のカードを作る。	
	11	○表紙と目次を作り、カードをとじて図鑑を作る。	【書】図鑑に合う表紙と目次を作っている。(観察、図鑑)
	12	○できあがった図鑑を友達と交換して読み合い、感想を伝える。	【関】友達の図鑑を楽しんで読んでいる。(観察、発言)

			【書】 友達の図鑑のいいところを見つけて伝えている。（感想カード）
--	--	--	-----------------------------------

6 本時の指導（9 / 12）

（1）目標

- ・選んだ自動車の仕事とつくりを説明する文を書くことができる。

（2）展開

段階	学 習 活 動	発問と予想される反応	指導上の留意点・評価 (※支援 ☆評価)
導 入 5 分	1 構成を振り返る。	○自動車カードは、どのような順序で説明されていましたか。 ・「しごと」「つくり」の順です。 ・「そのために」の言葉でつないでいました。	※学習した説明文の構成と自動車カードを掲示しておく。 ※気をつけることを確認する。
	2 学習課題を確認する。	しごとと つくりを せつめいするぶんを かこう。	
展 開	3 メモを確かめる。	○書き抜いた「しごと」と「つくり」のメモを読みましよう。	※メモは色分けした用紙に書かせる。
	4 例文で確かめる。	○文の終わり方は、正しいですか。 ・「あります。」ではなく、「います。」です。	※例をあげて、文末を意識させる。
	5 文の組み立てを確かめる。	○「しごと」と「つくり」をつなげるには、どんな言葉があるといいですか。 ・「そのために」です。	※「そのために」で、つながることを確かめる。
	6 「しごと」と「つくり」の説明文を書く。	○選んだ自動車の「しごと」と「つくり」について、文を書きましよう。 (1) 「しごと」について書く。 (2) 「つくり」について書く。	※ワークシートに書く。 ※「しごと」の文例を板書で示す。 ・ペアで読み合う。 ☆「しごと」と「つくり」についての文章を書くことができ

37分	7 書いた説明文を読む。		たか。 ・ペアで読み合う。
終末3分	8 本時の学習を振り返る。 9 次時の学習内容を確認する。	○「しごと」と「つくり」を説明する文を書くことができましたか。 ○今日の続きと二つ目の自動車の説明文を書きましょう。	・顔の表情マークで評価する。

(3) 具体的な評価規準

◎十分満足できる	○満足できる	支援を要する児童への手立て
選んだ自動車の「仕事」と「つくり」が分かるよう、文の組み立てを考えて書くことができる。	選んだ自動車の「仕事」と「つくり」が分かるように文を書くことができる。	ヒントとなる例文を見ながら書くように促す。 教材文を参考に、文型を手本にして書くように促す。 未習のカタカナを書いた紙片を用意する。

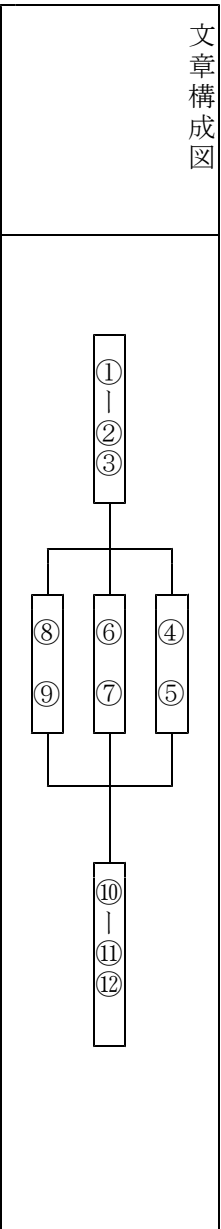
7 板書計画

8 参考資料

	書名	作者	出版社
1	「乗りもりパノラマ」シリーズ ・がんばれブルドーザー・ショベルカー ・いそげパトカー ・消防車 ・はたらくぞバス ・トラック	小賀野実	あかね書房
2	あつまれ！はたらくじどうしゃ	関口猪一郎	小峰書店
3	「超はっけん大図鑑」シリーズ ・はたらく車 ・のってみたいな！たのしいのりもの ・緊急出動！サイレンカー	小賀野実	ポプラ社
4	「はたらくじどうしゃ」シリーズ ・きんきゅう自動車 ・パワフル自動車 ・いろいろな自動車 ・自動車なんでも百科	海老原美宣男	国土社
5	ぜんぶわかる ・はたらく自動車 ・はたらく自動車スーパーワイド百科 ・あたらしい自動車ものしりずかん	中井精也 他 松本 真 他 深見悦司	成美堂出版
6	ニューワイド学研の図鑑 自動車・飛行機	岡 俊彦	学習研究社
7	はたらくのりもの	いのうえ・ こーいち	小学館
8	じよせつしゃだいかつやく	みねむらかつこ	ポプラ社
9	乗り物大常識	松沢正二	ポプラ社
10	SUPER KIDS HYAKKA3はたらくくるま	岡本 健	ひかりのくに
11	新装版KIDS3はたらくくるまひゃっか	岡本 健	ひかりのくに
12	のりものアルバム新のりもの100点	中沢義彦	講談社
13	おともだちスーパーワイド百科16はたらくくるま	持田克己	講談社
14	あたらしいのりものずかん しょうぼうじどうしゃ	いのうえ ひろかず	小峰書店
15	ポプラしゃしんえほん⑧はたらくくるま	小賀野実	ポプラ社

教材分析表
 単元名 くらべてよもう
 教材名 自動車とつくりの係に興味をもつて読み、ほかの自動車を説明する文章を書くことができる。
 ◎自動車の仕事とつくりの係に興味をもつて読み、ほかの自動車を説明する文章を書くことができる。
 (関心・意欲・態度)
 ・自動車の仕事とつくりの係に興味をもつとともに、ほかの自動車を説明する文章を書くことができる。
 (読むこと)
 ・三種類の自動車について、仕事とつくりの係を考えながら内容を大體を読むことができる。
 ・簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文章を書くことができる。

意味段落	形式段落		文章構成	着目させたい語句
	①	②		
一 問題提起	③	②	①	⑩
二 バス 乗用車	⑤	④	②	⑪
三 トラック	⑦	⑥	③	⑫
四 クレーン 車	⑧	⑧	④	⑧
五 はしご車	⑩	⑩	⑤	⑨
	⑪	⑪	⑥	⑥
	⑫	⑫	⑦	⑦
			⑧	⑧
			⑨	⑨
			⑩	⑩
			⑪	⑪
			⑫	⑫



じどう車じどうくるまずかんをつくらう

じどう車じどうくるまづくりをせつめいするぶんをかこう。

きをつけること

- ぶんのつながり
- ぶんのおわり

《 せい 《

例文

① しごと

しごとを は しています。

-- そのため、

② つくり

つくり

つくり

つくり

はしご車は、

しごとをしています。

□
そのために、

